

市政のここが聞きたい！

一般質問

6月定例会では16名中【14名】が登壇しました

YouTube
録画映像は
こちら



会議録は
こちら



※6月定例会の会議録は9月下旬に公開予定です

市の施策状況・将来の方針・課題などについて、議員が提案も含めて市の考えを聞くのが一般質問。ここでは、今回出た75の質問の中から一部をダイジェスト版で分かりやすく紹介します。より詳しい内容は、動画配信や会議録をご覧ください。

子育て・住環境の充実	行財政改革
いじめ防止対策推進法の周知 今尾 P.9	財政調整基金 今尾 P.9
市民の健康づくりの推進 今尾 P.9	その他
子育て支援 中村 P.11	官製談合再発防止対策と入札及び契約の適正化推進 山下 P.7
安全安心のまちづくり 澤田 P.10	市内業者の受注機会の確保・育成 山下 P.7
やさしい道路空間整備事業 東 P.9	コロナ禍に伴う社会構造の変化 田中大 P.8
犯罪被害者等支援条例の制定 卯野 P.12	工業用水道事業 南山 P.10
街灯（防犯灯）整備とLED化 仙台 P.14	物価高騰に対する支援 荒井 P.11 近藤 P.12 北村 P.13
災害時のトイレ 仙台 P.14	町会・町内会の運営に対する支援 荒井 P.11
教育力の向上	地域医療 中村 P.11
「能美電」の活用 北村 P.13	官製談合再発防止対策検討委員会 卯野 P.12
交流人口の拡大 中野 P.8	マイナンバー取得は任意！ 近藤 P.12
市民パワーをまちづくりに 南山 P.10	施設跡地の利活用 山本 P.13
JR小松駅からの誘客とJR能美根上駅の無人化対応 卯野 P.12	能美市立病院 仙台 P.14
プロモーション	
能美市の観光物産歴史の発信 卯野 P.12	

が、この委員会は、入札執行

とは困難と考える。
ただし、発注後の案件につい
て、第三者の外部委員により審議
する委員会は、県の入札監視委員
会をはじめ、金沢市でも設置の例
がある。この委員会は、入札執行

Q 不祥事を二度と起こさないた
めの手段として、指名審査委
員会に第三者委員会を設置せよ
A 指名審査委員会の審議で取り
扱う情報の中には、予定価格
や調達の内容など、事前に外部へ
漏洩すると適正な公共調達の執行
に支障を来たす情報も多く、委員
は市役所内部の職員のみで構成
し、審議内容は非公表としている
ため、第三者委員会を設置するこ
とは困難と考える。

Q 能美市官製談合再発防止対策
の取組方針の公開予定は
12月を目前に再発防止策の取
組方針を報告する予定として
いるが、スケジュールの前倒しに努
め、なるべく早い公表を目指す。

官製談合再発防止対策と
入札及び契約の適正化推進



やました つよし 議員
山下 毅 能美保守の会

能美市官製談合再発防止対策検討委員会設置要綱	
目的	本会では、本市で発生した官製談合再発防止対策検討委員会設置要綱に基づき、官製談合再発防止策の推進を図るとともに、入札及び契約の適正化を図ることを目的とする。
組織	本会を、市長が会長となる。委員は、市長が任命する。委員の任期は、令和2年度から令和3年度までの間とする。
委員	委員は、市長が任命する。委員の任期は、令和2年度から令和3年度までの間とする。
事務局	本会の事務局は、市長が任命する。事務局は、市長が任命する。
その他	本会の活動は、市長が任命する。事務局は、市長が任命する。

て検討する。

Q いわゆる「たるま落とし方式」
は、一つの業者による複数工
区の受注を抑制するために用いる
方式である。令和2年度から取り
入れているが、より多くの市内業
者に市の公共事業を受注してい
ただくことで、地元業者の経営安定
とさらなる発展につながると考え
ており、より積極的な活用につ
いて検討する。

Q 一つの工区の入札で落札とな
った者は、他の工区で落札者
とならない旨の条件を付して発注
すべきと考えるが見解を問う

市内業者の受注機会の
確保・育成

や随意契約の方法が適正に執行さ
れていたかを定期的に審議し、結
果をその後の公共調達へ生かす役
割を担っている。市においても、
第三者委員会の必要性について調
査しながら、公共事業の入札及び
契約の適正化推進に向け、努めて
いく。

▲能美市官製談合再発防止対策検討委員会設置要綱



議員 能美保守の会
久大佐 田中

コロナ禍に伴う社会構造の変化

Q 閉塞感に包まれた社会になっていると思うが、チャレンジ精神の醸成について見解を問う

A 子どもたちが将来に向かっ
て夢や目標を持つ機会となるよ
う、オリンピックやプロ野球選手
との交流イベントをはじめ、社会
で活躍する市内中学校出身者を先
輩として母校に迎え、講演会など
を開催しており、今後も豊富な人
財を生かし、こうした機会を増や
していきたい。

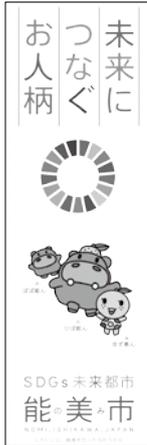
また、若者の暮らしを応援する
支援策の充実にも取り組んでい
る。このほか、県内最大級に引き
上げた移住定住補助金、結婚新生
活の支援補助金、妊娠から子育て
に関する各種支援事業など、きめ
細やかで手厚いメニューに加え、
子育て環境の充実や宅地開発に着
手し、ソフト・ハードの両面から
市民のライフイベントを総合的に
支援している。

急速に社会経済情勢が変化する
時代の流れを捉え、先を見定めた

対応策を講じていくことが重要だ
と考えている。どんな時代も、誰
もが本市でチャレンジしたいと選
択してもらえよう、市民と一丸
となりSDGs未来都市として、
「暮らしやすさを日本一、実感で
きるまち」の実現にチャレンジを
していきたい。

Q 多様性の進展に伴う環境整備
について、市の対応を問う

A 本年度、能美根上駅周辺にテ
レワークが可能な体験オフィ
スの整備を予定している。地方へ
のサテライトオフィス開設に関心
がある事業者に対し、2週間から
1か月をめどに無料で体験オフィ
スをご利用いただき、その間に市
内各所を回っていたとき、能美市
でのサテライトオフィス開設、能
美市内での暮らしのマッチングや
いしかわサイエンスパークなどへ
の誘致促進につなげていく。



▲SDGs未来都市に選定されている
能美市

一般質問



議員 能美保守の会
志廣 中野

交流人口の拡大

Q 森林環境譲与税の使用用途を
広げ、山林・松林を整備し、
憩いを提供できる場所を拡大せよ

A 能美市には市の総面積の約4
割を占める3561ヘクタ
ルの森林がある。過去10年間に森
林施業がされていない森林は、令
和3年度末時点で420ヘクタ
ルに及ぶ。

森林環境譲与税は、制度が始ま
った令和元年度から令和3年度ま
で1903万円の余りが能美市へ譲
与され、うち1876万円の余りを森
林所有者から能美市に経営管理を
委託する計画の策定や境界の明確
化、間伐の実施に充ててきている。
令和3年度までで森林環境譲与
税を活用して間伐を終えた面積は
8ヘクタールと未整備面積の2%
であり、引き続き森林整備の重点
化に活用していきたい。

Q コロナ禍で海岸清掃が2年間
中止となっている。市が駐車
場やトイレのある海岸の一定エリ

アを限定して定期的な清掃し、き
れいな海岸を観にくる人の拡大を
図れ

A 能美市の海岸は、石川県が管
理者となっており、県が策定
している石川県海岸漂着物対策推
進地域計画において、海岸漂着物
等のごみの処理に関し、市は県と
連携して回収を行うこと、また回
収された海岸漂着物等は市におい
て処分することとされている。

一定エリアを限定し定期的な清
掃活動を実施することについて
は、今後県と協議・連携し、効果
的な実施の方策を検討していき
たい。

白砂青松の海岸は能美市のかけ
がえのない財産であり、海岸の多
様な環境である美しい景観や豊か
な生態系など海がもたらす恵みを
享受できるよう、今後とも海岸環
境の保全と能美の海のPRにも努
めていく。



▲ゴミのない美しい海岸を熱望





ひがし東 まさゆき 議員
能美保守の会

やさしい道路空間整備事業

Q 今年、辰口中央小学校校下での取り組む事業区域はどのあたりの範囲かを問う

A 辰口町を中心に歩行者、自転車の交通量が多い区域を想定しており、先行している福岡・宮竹小学校校下と同様、地元町会を含め協議会メンバーと意見交換をした上で効果的な範囲を設定していきたい。

Q やさしい道路空間づくり協議会の構成メンバー、設立時期、活動予定の内容と今後のスケジュールを問う

A 町会をはじめ、保育士、保護者会、小中学校の教員、PTAの方々や警察、県・市の関係部局など多様なメンバーを想定している。今年9月頃の設立を予定しており、現地合同点検、ワークショップ形式による危険箇所洗い出し、改善策について意見交換を実施し、今年度中には対策内容を立案していきたい。

Q 先行している福岡・宮竹両小学校校下での取り組みにおける考えや意見、事例内容を問う

A 福岡地区では基本方針として、「歩行者、自転車の通行空間の確保と横断歩道部における歩行者のたまり空間の確保」「歩行者、自転車の安全かつスムーズな動線のネットワーク化」「自動車への速度抑制の徹底」の3本柱を策定し、キッズゾーンとゾーン30の設定、グリーンベルト設置など対策工事を行っている。宮竹地区については、今後、基本方針と基本計画を策定する予定である。

Q 事業計画を進めるうえで、今後の国県補助事業の活用や協議会において現場の生の声が反映される組織づくりを

A 現場の生の声が反映されることとが肝要であることから、地元と密に連携を図り、ハード面では国補助に採択されるよう努め、用地の確保等に際し、町会・町内会への働きかけや補助金交付制度等を取り込むことが重要である。協議会での検討結果を踏まえた上で、地元と一体感を持って着実に展開・推進していきたい。



▲福岡小学校校下に設定されている「ゾーン30」

一般質問



いまおこうし 議員
今尾 晃司 能美保守の会

いじめ防止対策推進法の周知

Q これまでの取り組みを問う

A 市内全ての小中学校でホームページに学校いじめ防止基本方針を公開している。学校説明会やPTA総会、学校だより等を通じて学校のいじめ対応方針を説明している。

Q 学校いじめ防止基本方針の認知を向上させる取り組みは

A 児童生徒にはいじめアンケートの中で、法が示すいじめの定義と、基本方針の内容を確認し、保護者には基本方針についてメールで配信。地域の人たちには学校だよりで学校いじめの対応方針について周知を図ってきた。

財政調整基金

Q 適正規模と残高見通しを問う

A 基金積立額の規模は、標準財政規模の10%から20%程度が

一般的とされ、能美市は標準財政規模が146億円余であり、約15億円から30億円程度が目安である。令和3年度末の基金残高は、令和2年度末の36億円余りと同程度を維持できる見込みである。

市民の健康づくりの推進

Q 市民の健康づくりに向けた「健康ロード」の活用を問う

A 健康ロードを中心軸に、各町会・町内会を巡り、能美ふるさとミュージアムや能美古墳群などのスポットを紹介するウォーキングルートを設定し、歩いて楽しむ仕掛けづくりに取り組んでいる。

Q 市民参加のオンライン能美市ラン&ウォークを開催せよ

A 能美市ラン&ウォークの開催については、いしかわスポーツマイレージを活用した新たなイベントを検討し、県当局に対しコースの追加を働きかける。市民が都合のよい時間に気軽にランニングやウォーキングを楽しみ、ふるさとの魅力を再発見し、健康増進と交流の輪を広げていただけるよう、ソフト・ハード両面の取り組みを推進する。





議員 清水 達志
澤田 だ 議員 清 達志

安全安心のまちづくり

Q SDGs未来都市として、持続可能な未来を築く方策は比較的高い市民力・地域力が能美市のお人柄と捉えている。官民が一体となって暮らしやすさを向上させ、多くの人や企業から選ばれる能美市を築いていく。

Q 都市計画道路の未整備路線について今後の取り組みを問う
A 約1・5kmの未整備5路線について、将来道路網の需要予測や防災上の観点を考慮して事業化を適切に判断していく。

Q 土砂災害警戒区域の除外等の見直しについて見解を問う
A 地形的条件が変更され、指定の条件を満たさなくなった場合に石川県が見直しを行う。

Q 災害の長期化を想定した場合の備蓄状況について問う
A 石川県が想定する地震被害の規模を基に、大規模災害の発

生3日間の避難生活に最低限必要な物資を備蓄している。

Q 騒音区域告示後の建築住宅の防音工事の見解を問う
A 住宅防音工事の補助について第1種区域指定の告示後の住宅建築も補助対象として要望しており、騒音対策を図っていく。

Q 携帯電話の不感地帯の解消について問う
A 市内居住地域には電波が届いており、里山の一部に不感地帯がある。利便性と安全確保の視点から解消の必要性を考える。

Q マスク着用の市の対応を問う
A マスクの着用は基本的な感染対策として重要であるが、熱中症予防の観点から小中学校では体育の授業や部活動、登下校や休み時間に外す指導を行っており、認定こども園ではマスク着用を一律に求めている。

国や県が示している場面に応じたマスクの適切な周知を図っており、市としてマスク不要の場面では、外すことを推奨していく。



一般質問



議員 能美保守の会 南山 修一

市民パワーをまちづくりに

Q トレイルランニングコースを含む美しい里山地域の発展に向け、今後の具体的な展開を問う
A 北陸新幹線県内全線開業に向け、こくぞう里山の魅力に一層の磨きをかけ、全国に発信したい。こくぞう里山に関わる地域住民、里山振興団体、事業者、行政などが相互に連携し、それぞれの強みを生かして、人と自然が調和した持続可能で活力ある地域づくりに取り組んでいきたい。

Q ヤリカン※参加者としての副市長の所感を問う
A ヤリカン十二時間耐久コースに出場し、当日の天候は終日雨で、大変苛酷なコンディションだったが、トレラン愛好者が集い、出会い、励まし合いながら、気持ちよく走ることができた。

また、選手や運営スタッフ、仏大寺町町会など多くの人とつながり、その場や時間を楽しみ、共有していることを強く実感した。

※ヤリカン：遣水観音山を指す

今年度新たなコースを整備する予定であるが、一方で大会会場周辺の駐車場スペースが少なかったと感じており、市としても調整を図るなど、大会機運の盛り上げに協力していきたい。

Q 市役所職員の人材育成を問う
A まちづくりの原点は人づくりにあると考えており、職員にはこれまで同様、地域活動をはじめ、自らの力を生かせる諸活動への積極的な参加を期待したい。

Q こくぞう里山公園の展開・管理・運営を問う
A 和気あいあいの里パーベキュー場の利用促進とサービスの質の向上を図るため、駐車場の拡張や案内標識の設置などを行う。

工業用水道事業

Q 工業用水道事業の現在の地下水位は安定しているか、2031年度までの推計で純利益が確保できる見込みであるか。経営状況は

A 水位は安定しており、2031年度までの推計で純利益が確保できる見込みである。



▲トレランによる里山エリアの活性化に期待



荒井 昌宏 議員
能美保守の会

燃料価格高騰に対する支援

Q 燃料価格の負担が軽減できる
よう、トラック運送事業者へ
の支援ができないか

A 市内のトラック運送事業者に
現在の経営状況を聞いたところ、
「燃料価格の高騰で経費が増
加し、利益率が下がっている」と
いった共通のご意見があった。

国では現在、燃料油に対する激
変緩和措置として、石油元売事業
者への補助金交付により小売価格
の抑制に取り組んでおり、県も原
油等価格高騰に係る経営安定融資
の拡充や相談窓口、専門家派遣の
充実を図っている。

国・県の対策をもっても充足し
切れない分野を見極めて施策を講
ずる必要があると思っており、引
き続き他の分野の動向も注視しつ
つ影響を調査し、市として対応す
べきことを考えていきたい。この
ほか、人材確保対策も含め、社会
経済環境の変化に備えた足腰の強
い事業者としての成長を後押しす
ることを検討したい。

町会・町内会の運営に対する
支援

Q 少子・高齢化の影響により、
町会長・町内会長の担い手不
足がますます深刻化している中
で、町会・町内会の運営に心温ま
る支援ができないか

A 今年度、町会長・町内会長に
タブレット型端末を貸与し、
日中に市役所に来ることができな
い場合でも、市に対する要望書や
補助金申請書などをオンラインで
提出できるようデジタル化を進め
ている。市からの情報を今までよ
り早く、確実に受け取ることが可
能となり、町会長・町内会長の負
担軽減を図るとともに、町会・町
内会活動の活性化につながること
を期待している。

今後機会を通じて互いに情報
を共有しながら、町会・町内会と
のさらなる連携強化と支援に取り
組んでいく。



▲トラック運送業者への支援を

一 般 質 問

子育て支援



中村 純子 議員
能美保守の会

Q 里帰り出産時の一時預かり事
業を実施してはどうか

A 市外にお住いの就園児につい
ては、一時預かり保育事業の
対象とはしていなかったが、今後、
市立認定こども園へ寄せられる相
談を子育て支援課で集約し、受入
れできる園を調整するなど一時預
かり保育事業を利用できる体制を
整えていく。

地域医療

Q 能美市が目指す「地域包括医
療の実現」に向けて、どのよ
うに取り組んでいくのか

A 市立病院の地域包括医療は、
入院から退院、在宅療養ま
で、一人ひとりのニーズに寄り添
いながら、入院チームと在宅チー
ムが連携し、支援をする全人的医
療を目指している。急性期、回復
期、慢性期と在宅までの過程を一
貫して担う地域包括医療を、近隣
の医療機関や地域の方々のご理

解・ご協力をいたいただきながら、さ
らに推進していきたい。

Q 能美市立病院の今後のあり方
をどのように考えているのか

A 「いつもあなたのそばに能美
市立病院」と掲げ、地域包括
医療のさらなる充実を目指し、地
域医療推進センター、愛称「まる
っと」の設置など、4月に組織を
改編した。現在、地域医療推進セ
ンターを白寿会館別館に新設する
改修工事を行っており、改修後は
在宅支援部門約20名が地域包括ケ
アシステム構築の中心的な役割を
担っていく。

また、今年度スタートさせる医
療介護連携システム構築事業で
は、デジタル技術により支援に必
要とされる情報を一元管理し、高
齢者などの見守りと在宅ケアを支
援する。今後、メモリーケア・ネ
ットワーク能美や医師会との連携
の下、在宅で安心して住み続ける
ことができるよう、デ
ジタル技術
と市民の力
を最大限に
生かし、地
域医療、在
宅医療のさ
らなる充実
を図る。



▲市民に寄り添う病院として安定した運営の継続を



議員 卯野 修三
能美保守の会

犯罪被害者等支援条例の制定

Q 総合的な支援を含めた条例を制定せよ

A 他市等の事例を参考に、前向きに検討していきたい。

官製談合再発防止対策検討委員会

Q アンケート調査結果の公表と納入業者への調査はするのか

A 必要に応じて市ホームページなどでの報告を予定しており、業者に対してはコンプライアンスの徹底を啓発していきたい。

Q 再発防止取組方針について、経過報告の実施はするのか

A 途中経過などを市長や議会へ報告したいと考えている。

Q 内部職員からの通報相談窓口の設置は

A 総務課で公益通報相談を受付している。情報提供しやすい環境づくりに努め、不正抑止の体制充実を図っていきたい。

能美市の観光物産歴史の発信

Q 地域活性化起業人のこれまでの取り組みと成果は

A 能美市でしか体験できない観光商品を造成し、産業観光の旅行プランが大手旅行会社2社の全国版パンフレットに掲載されるなど、知名度向上につながった。

Q 能美市出身の明治半ばの九谷焼商人とのつながりを生かして、大手菓子メーカーや大手私鉄とコラボできないか

A 市出身の先人たちが築かれた貴重なご縁を生かせるよう調査研究したい。

JR小松駅からの誘客とJR能美根上駅の無人化対応

Q 北陸新幹線小松駅からの誘客と能美根上駅の無人化対応は

A 並行在来線の乗り継ぎや民間路線バス、レンタカーとの連携で利便性を向上させたい。無人化対応は先進事例の調査を進め、活性化案を検討していきたい。



▲無人化対策をしっかりと

一般質問



議員 近藤 啓子
日本共産党

物価高騰に対する支援を

Q 学校給食費における食材費高騰による保護者負担への支援をすべきでないか

A 一部製品の原材料や青果類等で価格が上昇しており、物価上昇が保護者の負担増とならないよう、補助の実施や給食費単価の統一化について検討を進める。

Q 認定こども園・放課後児童クラブへの光熱費や食材負担の支援をすべきでないか

A 昨年4月との比較で、光熱費が約10%増となり、食材料費は今後1食当たり11円程度の不足となる可能性がある。新たな保護者負担が生じないように検討する。

Q 高齢者や障がい者、低所得者への夏期冷房費支援をせよ

A 低所得者への支援として、市独自の「特別くらし応援給付金」を住民税非課税世帯等に本年2月から9月末まで随時支給しており、新たな支援は考えていない。

Q 飲食店や農業など様々な事業者にも値上げの影響が出始めている。光熱費やガソリン代などの直接的・具体的支援を行え

A コロナ禍前と比べ、売り上げが減少した事業者に対し、市は「事業復活支援金」の上乗せ支援を行っている。現在、原油価格や各種材料費が高騰しており、さらなる物価上昇も予想される。今後さらに調査と分析を行いながら、市民の暮らし支援も含めた、地域の経済振興策を進めていく。

マイナンバー取得は任意！

Q マイナンバー未取得者へ交付申請書が送られ、「健康保険証として利用できません」との記載があったが、健康や命の問題を取りの糧とするのはやめるべきでないか

A 後期高齢者は受診機会が多く、マイナンバーバーカードの健康保険証利用をメリットにできると考え發送している。後期高齢者医療広域連合会に意見を伝える。



▲食材費高騰への支援を



きたむら しゅうじ
北村 周士 議員
能美保守の会

物価上昇に伴う
給食費・副食費の対応

Q 保護者の負担軽減を図るために、学校給食・認定こども園の副食費の補填を行う考えはあるか

A 市立認定こども園の副食費については、現時点で顕著な変化は見られていないが、根上・寺井地区の各学校及び辰口学校給食センターでは、食材料費の価格上昇により、給食費の会計に不足を生じるおそれがある。

今後、市内における給食費単価の統一化を検討するとともに、世界規模に及ぶ急激な価格高騰が保護者の負担増加につながることはないよう取り組んでいく。

「能美電」の活用

Q 「能美電」車両を文化財として保存、活用せよ

A 能美電は大正14年から昭和55年にわたり、旧鶴来町から旧根上町まで、東西に横断する総延長16・7キロメートルの鉄道路

線として運行され、現在は、平成18年に北陸鉄道から譲り受けた車両モハ3761が「のみでん広場」に設置されている。

のみでん広場は、市内小学生が昔の暮らしを学ぶ中で、実物の能美電を体感できる貴重な教育の場となっており、現在は遊具も設置され、隣接する辰口中央児童館や辰口図書館と一体化した学び、憩いの場として多様な世代に親しまれている。

能美市制誕生20周年の節目となる令和7年（2025年）は、能美電開通100周年を迎え、線路跡を健康ロードとして再整備を行う計画もあり、車両についても市民の心に懐かしい日々を思い起こさせてくれる貴重な歴史遺産として、また、ふるさと学習のシンボルとして、保存と積極的な活用をしていきたい。

引き続き、車両本体と関連資料の歴史的・文化的価値を整理していく。



▲能美電は歴史・文化を語り継ぐ鉄道遺産

一般質問



やまuchi もと さとる
山本 悟 議員
能美保守の会

施設跡地の利活用

Q 「インクルーシブ・プレイグ라운ドのみ」の開設経費、広場の面積、今後の維持管理の主体者、想定される年間の経費を問う

A 公園開設の経費は約1億4000万円、公園の全体面積は約8000平方メートル、遊具広場や築山、再生瓦チップを施した約300メートルのウォーキングコースも整備し、遊具広場は面積1616㎡、芝生広場は2156㎡である。維持管理については福祉課が担当となり、トイレ棟の清掃は障害者の福祉就労事業所に委託している。想定される年間の経費は、芝生緑地管理費、光熱水費、トイレ棟の管理費などを含め、約250万円を見込んでいる。

Q 旧フラワーセンター、勤労青少年ホームをはじめとする、統廃合された施設の跡地の利活用について、現在までの取り組みと今後の展開について問う

A 能美市では、公共施設の老朽化や人口減少、人口構成の変化とともに、今後の財政支出の構造が大きく変化することが予想される中で、合併以降保育園や児童館をはじめとする、各公共施設の統廃合を進めてきた。

今後の展開については、引き続き能美市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画による統廃合も含め施設の必要性や活用の将来性などについて検討し、財政負担の軽減・平準化を図ること、未利用財産の積極的な売却や貸付けに努めることとしている。

その上で、能美市全体の公共施設の現状と今後の見通し、都市公園の現状と今後の在り方、移住・定住の促進や地域コミュニティの問題などを総合的に勘案し、ある程度時間をかけながら、地域の方のご意見を踏まえ、跡地利活用について協議していきたい。

移住・定住につながる思いのこもった通称「プレグラのみ」



▲移住・定住につながる思いのこもった通称「プレグラのみ」



せん だい けん ぞう
仙 台 謙 三 議員
公明党

街灯（防犯灯）整備とLED化

Q 寺井高校生と能美市議会との意見交換会や市民相談などにおいて、夜間の暗さによる防犯上の懸念や防犯灯の増設などを求める声がある。また、LED化の推進の状況はどうか

A 防犯灯の明るさは、それぞれの設置個所の状況に応じて決定している。例えば、水田付近での設置は水稻の生育に影響が及ぶため、照度及び設置位置や照射角度の調整などを設けている。設置間隔は、日本防犯設備協会の防犯灯設置基準に基づいている。
LED化は、令和3年度末の防犯灯は市内で7231基、うちLED化されたのは6137基（84・9%）である。令和3年に既にLED化した防犯灯の取替工事や修繕についても補助の対象に加え、市内の観光拠点施設の周辺などデザイン性の高い街灯の整備についても補助率の引き上げを行った。今後も積極的にLED化の促進を図る。

能美市立病院

Q 病院の課題や今後の目標について問う

A 医師の確保が最大の課題である。関係機関に積極的に働きかけた結果、交代も含め整形外科、内科、脳神経外科、眼科に新たな医師が赴任された。
また、本年4月には地域医療推進センターを設置し、地域医療・在宅療養の拡充を図っており、経営面では令和5年度末までに経営強化プランを策定する。

Q 災害時のトイレを市が率先して整備すると同時に、災害時のトイレを備蓄するよう市民に働きかけるべきでないか

A 水が使えない状況下において、簡易トイレ袋の備蓄によって、トイレが使えないという問題は大きく解消できる。今後も防災フェスタや出前講座等の場を活用して、各家庭での備蓄を呼びかけていきた



▲夜道に不安を感じないように防犯灯の整備を

傍聴者の声

手話の方がいらして、感心して見入ってしまいました。

市側の答弁に対する再質問があると、より内容が深められてよいのではと思う。

一問一答方式はわかりやすいので今後もこの方式で。

質問内容の重複が気になりました。調整すれば質問時間をより有効に生かせるのでは。

電子採決を県内初導入

令和4年6月24日、令和4年第2回定例会の最終日に「能美市議会会議規則の一部を改正する規則について」の委員会提出議案を全会一致で可決し、県内自治体で初となる電子採決を導入しました。

これにより、賛成・反対の意思表示を円滑に判別でき、円滑な議事進行を図れるようになったほか、採決結果をデータとして保存できるメリットもあります。

そして、議会を傍聴している方にも採決結果をカラーで分かりやすく表示することが可能となり、より市民に開かれた議会の推進にもつながります。ぜひ議場での傍聴や議会中継で、県内初の取り組みをご覧ください！

可決 / 否決の判別を分かりやすく

能美市6月議会 採決										投票結果					
出席議員数										賛成	反対	総投票数			
16										15	0	15			
○ 中野 廣志	○ 荒井 昌宏	○ 中村 純子	○ 澤田 貞	○ 今尾 晃司	○ 山下 毅	○ 卯野 修三	○ 北村 周士	○ 仙台 謙三	○ 山本 悟	○ 田中 大佐久	○ 田中 策次郎	○ 南山 修一	○ 東 正幸	○ 近藤 啓子	○ 杉田 隆一